

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和5年度分）

施設名	茨城県立歴史館
施設所管課	教育庁総務企画部文化課
指定管理者	公益財団法人茨城県教育財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	水戸市緑町2-1-15
施設の概要	敷地面積 70,589.73 m ² 建物面積 7,937.03 m ² (建物面積内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・本館：展示室、講堂、管理・研究棟（鉄筋コンクリート造 4058.69 m²） ・一橋徳川家記念室（鉄筋コンクリート造 548.51 m²） ・考古収蔵庫（鉄骨造アスファルトシングル葺 476.40 m²） ・旧水海道小学校本館（木造瓦葺 299.67 m²）〔県指定文化財〕 ・旧茂木家住宅（木造茅葺 142.20 m²）〔県指定文化財〕 ・旧水戸農業高等学校本館（木造瓦葺 397.49 m²） ・茶室（無庵、双宜庵）（木造瓦葺 236.55 m²） ・民俗収蔵庫（鉄骨造 862.56 m²） ・文書整理保管庫（鉄骨造 551.85 m²） ・その他 363.11 m²
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史に関する資料の利用及び調査研究等に必要の事業の実施に関する業務 歴史に関する資料の調査・研究・収集・整理・保管事業、展示事業、教育普及事業、その他博物館として必要の事業の実施 ・茨城県立歴史館の利用の制限等に関する業務 ・茨城県立歴史館の使用の承認に関する業務 ・茨城県立歴史館の使用の承認の取消し等に関する業務 ・茨城県立歴史館の休館日等及び開館時間等の臨時の変更に関する業務 ・茨城県立歴史館の維持保全（教育委員会が必要と認める事項に限る。）に関する業務 ・茨城県立歴史館の管理上必要な業務

2 職員の状況

常勤職員：	30人	非常勤職員：	20人	合計：	50人
-------	-----	--------	-----	-----	-----

3 収支状況

令和5年度

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	401,193,00	人件費（給与等）	164,788,263
利用料収入	7,983,290	管理費	154,549,218
売店収入等	12,086,106	展示事業費	55,442,259
その他	13,288,200	資料整備費	12,178,755
本部繰入金(自主事業)	2,580,012	利用促進事業費	7,183,770
自主事業収入	0	租税公課費	16,331,060
		売店事業費等	12,313,175
		自主事業費	2,233,152
収入合計	437,130,608	支出合計	425,019,652

4 利用状況

	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
① 年間利用日数 (日)	299日	296日	269日
② 年間利用者数 (人)	61,631人	67,844人	62,255人
③ 利用料収入(円) (指定管理者収受額)	7,983,290円	8,789,220円	6,978,510円

5 サービス向上に向けた取組み

- 利用者には、適切でわかりやすい案内をしました。
- ミュージアムショップ兼飲食スペースを設置し、利用者サービスに努めました。
- 多様化する利用者の意見・要望を踏まえ、県民の視点に立った運営に努めました。
- 歴史資料の特別利用、公開の促進を図りました。
- 入館料の割引制度を活用し、利用促進を図りました。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法
 - ・各展示会等の入館者及びイベントの参加者に対してアンケートを実施
 - ・アンケート協力を呼びかける立看板とともに、記入台及び回収台を設置
- 調査結果
 - ① 職員・スタッフの対応
 - 大いに満足 30.9%、満足 49.1%、ふつう 18.2%、不満 0%、大いに不満 1.8% (回答者 55名)
 - ② プログラムの内容
 - 大いに満足 30.6%、満足 48.1%、ふつう 20.0%、不満 0.8%、大いに不満 0.5% (回答者 2,664名)
 - ③ 開館日・開館時間
 - 大いに満足 25.5%、満足 43.6%、ふつう 30.9%、不満 0%、大いに不満 0% (回答者 55名)
 - ④ 施設の清潔さ
 - 大いに満足 36.8%、満足 47.4%、ふつう 15.8%、不満 0%、大いに不満 0% (回答者 57名)
 - ⑤ 施設全体
 - 大いに満足 33.3%、満足 49.1%、ふつう 15.8%、不満 1.8%、大いに不満 0% (回答者 57名)
- 利用者からの意見等 (抜粋)
 - 【良い点】
 - ・ガイドツアーに参加させてもらって、分かりやすくてよかった。(常設展)
 - ・展示品の底が見えるよう鏡が設置されていたのはとてもよかった。(企画展1)
 - ・むかし話を視覚的に見られてとても楽しかった。展示パネルも可愛らしく目を引きました。(企画展2)
 - ・展示の仕方自体も頼則の作品のような客観性もありつつ本人の人となりも伝わるように面白い工夫がされているなど感じた。(企画展3)
 - ・VR(バーチャル・リアリティ)は非常に良かった。来館した人は目で見て分かりやすいので、今後も実施して欲しい。(特別展「那珂湊反射炉」)
 - ・今まで見たことがなかった資料が多く、興味深かった。(一橋徳川家記念室)
 - ・カフェが出来て良かった。ゆっくりしてほっとしました。
 - ・コロコロコミックコラボは子どもが楽しめる企画でよかった。
 - 【悪い点】
 - ・触れるの禁止マークがないところは触っても大丈夫なのか、そうではないのか分からない。
 - ・全体展示経路が分からない。

【要望】

- ・資料毎にQRコードで読み込むタイプの音声ガイドが欲しい。
- ・常設展の展示替えを行って欲しい。

○対応状況

- ・特別展「那珂湊反射炉」のキャプションにおいてQRコードで読み取る多言語解説を導入しインバウンドの利便性向上に配慮した。
- ・講堂利用者の利便性向上のため、ワイヤレスマスク等の放送設備を改修した。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	事業計画に基づき適正に実施した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	施設内外の清掃については、職員の指導及び監督のもと実施し、また屋外の植栽管理についても適切な時期に実施し景観の維持に努めた。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	施設設備等の修繕は緊急性のあるものから実施した。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	事業計画に定める使用日数、使用時間等は遵守した。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	ホームページを中心に、入館や施設の利用方法を広く周知し、平等・公正な対応ができた。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	11月を「歴史館いちようまつり」月間と位置づけ、いちよう並木のライトアップや県指定文化財である旧水海道小学校を活用したプロジェクトマップ等、様々なイベントを企画し、施設の利用拡大とサービスの向上を図った。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	各展示会及びイベント等においてアンケートを実施し、その結果を運営に反映できるよう事業を展開した。なお、以前から要望のあったミュージアムショップ兼飲食スペースを通年で営業した。	A	A
運営体制	職員は適切に配置されているか。	職員の適性及び実績等を勘案したうえで事務分担及び配置を行った。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望・苦情などについては苦情対応マニュアルに基づき対応し、県主管課など関係機関と密に連絡を取り合った。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを整備し職員の危機意識の向上を図るとともに、ヘルメットや懐中電灯等の防災グッズを整備し体制の確保に努めた。	B	B

	県、その他関係機関との連携は取れているか。	県主管課をはじめ、その他教育関係機関とも密に連携を行った。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	利用人員については、目標値を上回った。 目標値 178,600 人 実績 187,869 人	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	適当な水準である。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	適正に執行した。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	消灯、冷暖房の適正温度設定などの省エネやコピー用紙裏を利用するなど節約に努めた。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

管理運営状況については、「歴史館まつり」や「歴史館いちょうまつり」の開催、出版社とコラボレーションしたスタンプラリーの実施、様々な広報媒体を効果的に活用した広報活動、また、飲食スペースを通年営業するなど、施設の利用拡大やサービスの向上を図っており、施設の維持管理についても適切に行われている。

利用状況について、企画展等の入館者は前年を若干下回っているものの、同水準を維持しており、普及活動を含めた年間利用者数は、目標値を上回っている。また、特別展のキャプションにQRコードで読み取る多言語解説を導入し、インバウンドの来館者の対する利便性向上に配慮している。

このことから、県立歴史館の運営については、一定の成果を上げており、総合的に見て良好であると評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの